

第2回科研研究会

災害・人間・ことばと映像の表現

令和4年3月19日(土)

14:00 開会の辞 成田雅彦(専修大学教授)

14:10~15:10 講演

船橋淳(映画監督)

歴史に残る傷と

無意識の表象について

15:10~16:10

討論:船橋氏と科研メンバー

伊藤詔子:広島大学名誉教授

金津和美:同志社大学教授

川津雅江:名古屋経済大学名誉教授

塩田弘:広島修道大学教授

植月恵一郎:日本大学特任教授

吉川朗子:神戸市外国語大学教授

成田雅彦:兼司会

16:10~16:30

質疑応答:参加者全員

16:30 閉会の辞



* Zoom開催 参加登録URL:

<https://forms.office.com/r/Gu1v4eJQce>

参加申込〆切:3月16日(木)

連絡先:kkanatsu@mail.doshisha.ac.jp (金津和美)

主催:科学研究費 基盤研究(B)

癒しと再生のロマン主義

—グリーンケアをめぐる環大西洋エコロジーの展開と現代性—

研究代表者:成田雅彦

研究期間:2021~2024年度

https://sunrise-n.com/transatlantic_ecology/

共催:専修大学現代文化研究会

船橋淳氏紹介

映画作家。東京大学教養学部表象文化論分科卒業、ニューヨークで映画製作を学び、アメリカで監督デビュー。帰国後2011年より原発事故で町全体が避難を強いられている福島県双葉町の撮影を続けており、『フタバから遠く離れて 第一部/第二部』として公開。キネマ旬報ベストテン 第7位を獲得。同シリーズは世界40カ国以上もの国で上映され、仏 Signes de Nuit 国際映画祭でエドワード・スノーデン賞を受賞、ベルリン国際映画祭へ5作連続の正式招待という快挙を成し遂げた。最新作は日本社会のジェンダー不平等とハラスメント問題を活写する「ある職場」(3/5より劇場公開)。Official HPは以下参照。

www.atsushifunahashi.com

主要作品・著書紹介

デビュー作《echoes》(2001年)が、仏・アノネ国際映画祭で審査員特別賞と観客賞のW受賞。2005年、テレビ番組『人生を楽しみたい:アルツハイマー病への取り組み』を制作。米テリー賞シルバーアワードを受賞。2006年、『ビッグ・リバー』(オダギリジョー主演)では、ベルリン国際映画祭、釜山国際映画祭でプレミア上映。

- 『フタバから遠く離れて』
- 船橋淳著、岩波書店、2012.10
- 『フタバから遠く離れて II』
- 船橋淳著、岩波書店、2014.11
- 『まだ見ぬ映画言語に向けて』
- 吉田喜重、船橋淳著、作品社、2020.12

吉田喜重 船橋淳



まだ見ぬ映画言語に向けて